

2023年度 MRI基礎講習会（Web）の開催報告

公益社団法人埼玉県診療放射線技師会
学術委員 妹尾 大樹

埼玉県診療放射線技師会が主催したMRI基礎講習会は、昨年に続きZoomを利用したオンラインセミナーとして、2023年12月16日（土）に開催されました。今回の内容は、過去2年間の試験問題に関する解説講義で、参加者は26人でした。

今回の講義では、過去の認定試験問題を分野別に3つに分け、各問題を3人の磁気共鳴専門技術者に解説していただきました。解説内容は、公開されている過去問題を分野ごとに1問ずつ詳しく解説していき、解答をより正確にするため、事前に埼玉県の認定技術者数名により回答が作成され、模範解答として提示されました。各講師のかたがたは非常に分かりやすく詳細にスライドを作成し、解説してくださいました。また、講義終了後には解説スライドを参加者の皆さまに配布し、アンケートでは、各解説について「非常に良い」「良い」との結果が得られ、受講者の皆さまに非常に満足いただけたかと思います。

最後に、講師の皆さま、受講者の皆さま、協力いただいた皆さまに感謝申し上げます。

プログラム（敬称略）

2023年 12月16日（土） 13：00～

13：40～14：40	問題Ⅰ 模擬試験解説	埼玉石心会病院	糸見 陽平
14：50～15：50	問題Ⅱ 模擬試験解説	埼玉医科大学国際医療センター	駒形 一成
16：00～17：00	問題Ⅲ 模擬試験解説	自治医科大学付属さいたま医療センター	綾部 佑介

2023年度 救急撮影ケーススタディ開催報告

公益社団法人埼玉県診療放射線技師会
学術理事 滝口 泰徳

2024年1月13日（土）に、2023年度救急撮影ケーススタディを開催し、14人の参加がありました。埼玉県診療放射線技師会では、救急撮影ケーススタディとして「1つの疾患に対して、身体所見、生理検査から総合的に画像検査を捉える」ことを目的にグループワークを含む講習会を行ってまいりました。しかし、ここ3年間は新型コロナウイルスの感染拡大の観点から、Web(Zoom)を用いたセミナーとなっておりましたが、今回はさいたま赤十字病院をお借りして、久しぶりに集合型でのグループワークを行いました。今回のテーマは「絶対に見逃してはいけない救急疾患」ということで、腹部領域を中心とした内容で、上腹部疾患と下腹部疾患に分けて行われました。どちらも開催後のアンケート結果では非常に高い満足度が得られており、今後も継続的に開催し、より多くの方に参加していただきたいと感じました。

最後になりますが、講師の皆さま、およびセミナーに参加していただいた皆さまにこの場をお借りして、心よりお礼申し上げます。

プログラム（敬称略）

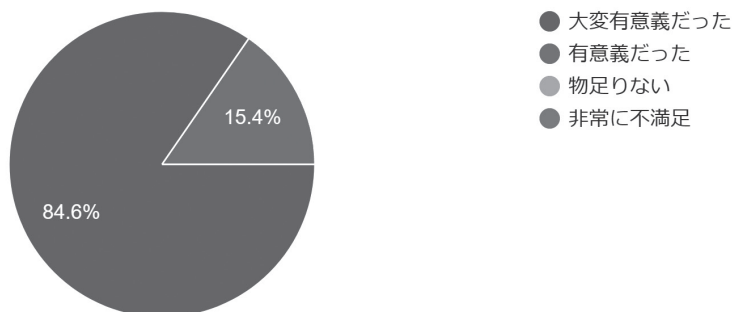
15：00～16：00	基礎から学ぶ！見逃してはいけない上腹部疾患	埼玉医科大学総合医療センター	大塚 和也
16：00～17：00	画像を読み解くPoint！～下腹部疾患～	上尾中央総合病院	市川 暁
	グループワークファシリテータ	上尾中央総合病院	茂木 雅和
		さいたま赤十字病院	池野 裕太
		埼玉医科大学総合医療センター	吉澤 孝郁
		埼玉医科大学病院	堀切 直也
		JCHO 船橋中央病院	滝口 泰徳



本会の動き

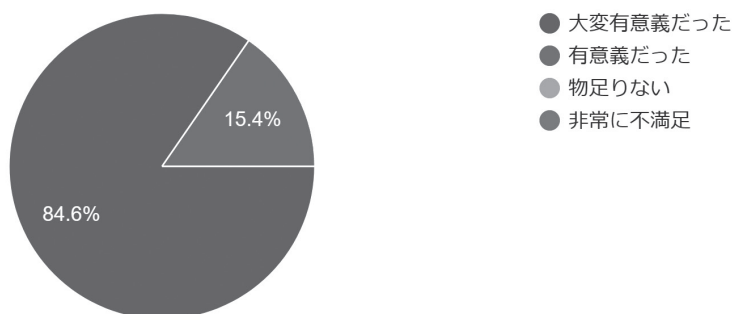
グループディスカッションについて以下より選択してください。

13件の回答



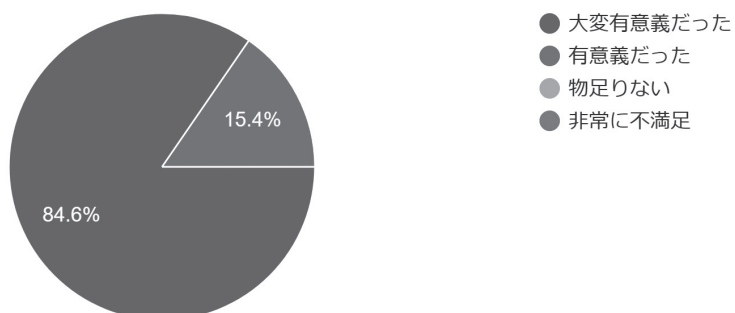
「基礎から学ぶ！見逃してはいけない上腹部疾患」について以下より選択してください。

13件の回答



「画像を読み解くPoint！～下腹部疾患～」について以下より選択してください。

13件の回答



2023年度 第21回 胸部認定試験 開催報告

公益社団法人埼玉県診療放射線技師会
学術委員 吉澤 孝郁

2024年1月14日（日）に埼玉県診療放射線技師会主催の第21回胸部認定試験がオンライン形式で開催されました。認定試験の受験者は17人でした。今年度もオンライン形式で開催しており、県内のさまざまな施設からの参加がありそのメリットであると感じます。

開催方法は昨年度同様、Zoomで受験者と通信を行ったまま、Webのアンケートサイトを用い読影問題、および筆記問題を解答する方法をとりました。試験後の受験者のアンケートでは「講習会含めとても有意義な時間でした」や「認定講習会を通じて胸部単純撮影の奥深さと臨床現場での重要性を改めて学ばせていただきました」などの感想をいただき、今後もより内容を充実させつつ、事業を継続する必要があると感じました。また数年ぶりとなるA認定該当者がいました。認定者含め今後の活躍に期待したいと思います。

認定試験を行うにあたり、問題作成にご協力いただいた講師の先生方、オンライン開催に向けさまざまな意見を下さった学術委員、また受験いただいた皆さまにこの場をお借りしてお礼を申し上げます。

認定試験の結果は以下の通りです。

【胸部認定】

A認定：三島 裕介（桜友会 所沢ハートセンター）

B認定：松倉 和久（済生会川口総合病院）

勅使河原 真由美（秩父臨床医学研究所）

峯村 祐美（埼玉医科大学総合医療センター）

立野 友香（上尾中央総合病院）

印田 起基（埼玉医科大学総合医療センター）

伊藤 涼香（済生会川口総合病院）

富田 剛史（埼玉県立がんセンター）

認定試験を合格者した方々には、各施設において撮影技術向上と精度管理の普及をお願いするとともに、放射線業務の質の向上に努めていただければ幸いです。

2023年度 第14回 CT認定試験開催報告

学術理事 中根 淳

2024年1月18日（木）、オンライン環境で第14回CT認定試験を開催しました。今回は、総勢6人の受験者が集い、例年通り筆記・読影・物理特性の3つの試験が実施され、各試験において70点以上の方が認定を取得致しました。

試験当日は、ページングによる読影においてリモートデスクトップアプリケーションなどを駆使し、従来の会場型試験と同等の環境を提供できるように努力致しました。接続トラブルが一部発生したものの、皆さまのご協力により、大きなトラブルなく試験を円滑に進行させることができました。

今後も、引き続きオンライン上での認定試験を実施してまいります。これからもより一層の発展を遂げ、参加者の皆さまにとって有益な経験となるよう取り組んでまいります。

最後に、認定試験の実現にあたり、問題作成にご尽力いただいた講師の先生に深く感謝申し上げます。また、受験いただいたすべてのかたがたに心よりお礼申し上げます。今後ともご支援賜りますようお願い申し上げます。

【CT認定者】敬称略

A認定：該当者なし

B認定：沼田 将太（西大宮病院）

三島 裕介（桜友会 所沢ハートセンター）

認定試験を合格されたかたがたには、各施設でCT検査の技術向上において中心的な役割を担っていただけたら幸いです。

2023年度 第21回 上部消化管検査認定講習会 開催報告

学術理事 浅見 純一

2024年1月21日（日）に2023年度 第21回上部消化管検査認定講習会を開催しました。今年度も前回と同様に完全オンライン形式での開催となりましたが、県外からの参加者もあり、オンライン開催によるメリットを感じました。申込者数は11人で、8人の方が全課程を聴講し修了されました。途中、通信障害や不手際によるプログラム変更でご迷惑をお掛けしたことを、この場を借りてお詫び申し上げます。上部消化管検査は、撮影者の技術レベルやモチベーションにより画質が大きく左右される検査のひとつです。今後もより多くの方に興味を持っていただき、消化管検査全体がレベルアップできるような、充実した講習会を企画してまいります。

講習会のプログラムおよび講師は下記の通りです。

プログラム（敬称略）

開催日：2024年1月21日（日）

会 場：Zoomを利用したオンライン講習

8：30～ 9：30	X線透視装置の基礎：画質：性能評価	浅見 純一（行田中央総合病院）
10：00～11：00	受診者管理（造影剤・検査説明・接遇・情報管理）	
		浅見 純一（行田中央総合病院）
11：10～12：10	上部消化管撮影技術	池田 圭介（済生会川口総合病院）
12：10～12：50	昼休み	
12：50～13：50	被ばく管理	志田 智樹（丸山記念総合病院）
14：00～15：00	上部消化管検査に必要な病理	今出 克利（大宮医師会）
15：10～16：10	上部消化管検査に必要な読影	今出 克利（大宮医師会）
16：20～17：20	精密検査法とレポート作成	大森 正司（さいたま赤十字病院）

終わりに、受講生の皆さま、講義を担当していただいた皆さまに、この場を借りて深くお礼申し上げます。

2023年度 乳腺セミナー 開催報告

学術担当 亀山 枝里

2024年2月18日（日）に2023年度 乳腺セミナーをさいたま赤十字病院で開催致しました。受講者は7人でした。

今回のセミナーはグループに分かれた実習形式で行い、精度管理・読影・ポジショニングの実践的な内容としました。受講者のかたがたは実習に積極的に取り組むことはもちろん、自主的に意見交換を行うなど、グループ実習ならではの光景も見られました。セミナー後のアンケートでは「日頃疑問に思っていることを解決できて良かった」「楽しかった」など、たくさんのご意見をいただきました。今後も日頃の業務に活かせる講習会を企画してまいります。

今回ご講演いただきました講師のかたがた、またご参加いただいた受講者の皆さまにこの場をお借りしてお礼申し上げます。

プログラム（敬称略）

開催日：2024年2月18日（日）

会 場：さいたま赤十字病院

9：00～ オリエンテーション

	実習① 精度管理	実習② マンモグラフィの読影	実習③ ポジショニング実習
9：10 ～ 10：10	A	—	B
10：10 ～ 11：10	—	B	A
11：20 ～ 12：20	B	A	—

担当講師

実習①：精度管理

済生会川口総合病院

土田 拓治

実習②：マンモグラフィの読影

小川赤十字病院

廣田 絵美

実習③：ポジショニング実習

さいたま赤十字病院

舘沼理保奈

第37回 埼玉県診療放射線技師学術大会開催報告

大会長 富田 博信
実行委員長 中根 淳

第37回埼玉県診療放射線技師学術大会を、2024年3月3日（日）に大宮ソニックシティで、久しぶりの会場型として開催致しました。今回の大会のテーマは、『『MANABI』求められる診療放射線技師をめざして』でした。新型コロナウイルス感染症の影響を受け、過去数年間は完全オンラインまたはハイブリッド形式での開催が続いていましたが、今回は再び会場での開催を決定しました。

オンライン学会の定着が進む中、会場型開催に対する不安もありましたが、学術大会の本質的な意義である活発な議論を通じて、職場では得られない学びを提供することを目指しました。結果として、過去最高の43演題が一般演題として、13社が機器展示を行い、255人もの参加を頂きました。

主な大会内容は、さいたま赤十字病院放射線科部の前技師長である尾形智幸氏による「学びの機会」と、二宮病院の二宮淳先生による「乳腺診療のアップデート」の講演が行われました。さらに、「臓器別に考える乳腺」や、「症例検討会」「STAT画像」などの学術企画も開催され、会場内外での活発な討論や参加者同士の交流が行われました。

第38回埼玉県診療放射線技師学術大会は、2025年3月2日（日）に開催される予定です。皆さまのご参加をお待ちしています。

最優秀演題賞

19. 頭部単純CT検査の画像処理作業をAIへのタスクシフトの検証
埼玉医科大学総合医療センター 中央放射線部 千葉 南

優秀演題賞

16. 逐次近似応用再構成法の違いが頭部CTAに与える影響
埼玉医科大学病院 中央放射線部 黛 大葵
20. 64列CT装置の高速撮影における撮影条件の組み合わせが画質に与える影響
埼玉医科大学総合医療センター 中央放射線部 峯村 祐美

優良演題賞

8. 下肢長尺撮影におけるダイナミックレンジ圧縮処理の至適パラメータの検討
上尾中央総合病院 放射線技術科 長内 俊樹
23. 口腔領域における歯科用CTと医科用CTの画質比較
埼玉医科大学総合医療センター 中央放射線部 坂巻 愛莉
35. Saitama Stroke Network(SSN)における来院から治療までの迅速化に対する放射線科の工夫
埼玉県済生会加須病院 放射線技術科 松崎 千波

本会の動き



開会式



第1会場



参加登録風景



第2会場



機器展示



閉会式



大会講演



実行委員の皆さま

ご寄付お礼

ありがとうございました。

叙勲受章者の堀江 好一さまより埼玉県診療放射線技師会へ10万円の寄付
をいただきました。

厚くお礼を申し上げます。